SAKATA INX
Visual Communication Technology

# INXグループの次なる成長に向けて

## －サカタインクスの持株会社化－

# 持株会社化について

# SAKATA INX VISION 2030

## 目標：連結売上高3,000億円　連結営業利益240億円

### 印刷インキ事業　2030

- 環境経営の推進
- バリューチェーン全体の強化
- グローバルパートナーとの関係強化
- 高付加価値製品の開発と展開
- 国、事業をまたいだ最適経営の強化
- 成長市場・新規市場への経営資源の投入

### 機能性材料事業　2030

- 社会トレンドを捉えた高付加価値製品をグローバルに展開
- グローバルでのさらなる連携強化
- 各市場での販売・収益力強化、ブランド力向上

### 新規事業　2030

【4つのターゲット領域】

- 事業発展領域
- エレクトロニクス＆エネルギー
- バイオベース・脱石化材料
- ヘルスケア

### 変革プロジェクト

- グローバル連結経営のさらなる強化
- ステークホルダーとの関係強化
- 人財育成の強化・組織風土の改革

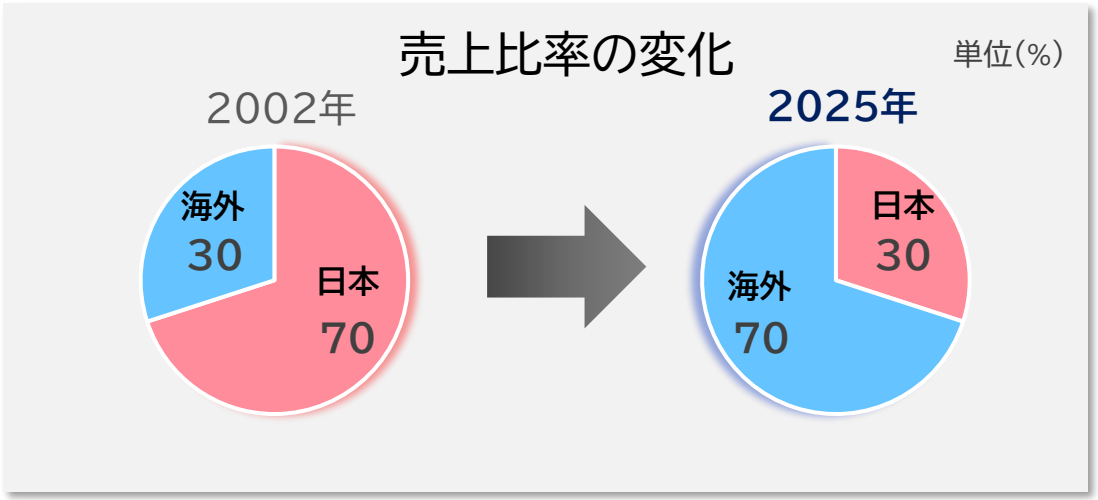
### 5つのマテリアリティ

- 持続可能な地球環境を維持するための活動
- 安心・安全な製品の供給
- 研究開発・技術力の強化
- コーポレート・ガバナンスコンプライアンスの強化
- 人権の尊重DEIBの推進

## 持株会社化によりグローバル連結経営の推進を加速

Copyright © SAKATA INX CORPORATION. All Rights Reserved.

# 当社グループの過去25年間の業績推移と今後の計画







**事業のさらなる飛躍を目指す**

# 事業環境の変化と当社の今後の方向性

## グローバル化



【事業環境の変化】
- 顧客のグローバル展開の加速
- デジタル・AI技術の急速な発展

【当社の今後の方向性】
- グループ会社間の購買・生産・物流・販売などの連携強化
- データドリブン経営の推進による情報の迅速な共有と業務の効率化、生成AI技術のビジネスへの活用

## 事業拡大



【事業環境の変化】
- デジタル化による紙メディアの縮小
- 先進国の経済成長鈍化
- 高機能化・高付加価値化への要求

【当社の今後の方向性】
- 大胆な事業構造改革
- 高付加価値製品の開発・展開
- 基盤技術を活かした新製品開発やM&Aによる新規ビジネスの創造

## サステナビリティ



【事業環境の変化】
- ESGなどの社会課題に対する世界的な規制強化や消費者意識の高まり
- 優秀人材の獲得競争

【当社の今後の方向性】
- 環境に配慮した製品・事業活動の拡充
- 組織風土の改革とグローバルガバナンス体制の強化
- グローバルに活躍できる優秀人財の採用・中長期的な育成

## 資本コスト経営



【事業環境の変化】
- 企業価値向上に対する投資家の期待の高まり
- グローバル視点での迅速な経営判断

【当社の今後の方向性】
- 資本効率を高める最適な資本構成
- 積極的な成長投資と株主還元

**急速な変化に機動的に対応できる組織体制と意思決定のスピード化が必要**

Copyright © SAKATA INX CORPORATION. All Rights Reserved.

（持株会社）

# INX（インクス）ホールディングス株式会社

（日本事業会社）

# サカタインクス株式会社

（2027年1月1日発足）



Copyright © SAKATA INX CORPORATION. All Rights Reserved.

# 持株会社化に伴う変化・継続

## グループ経営

### INX ホールディングス㈱



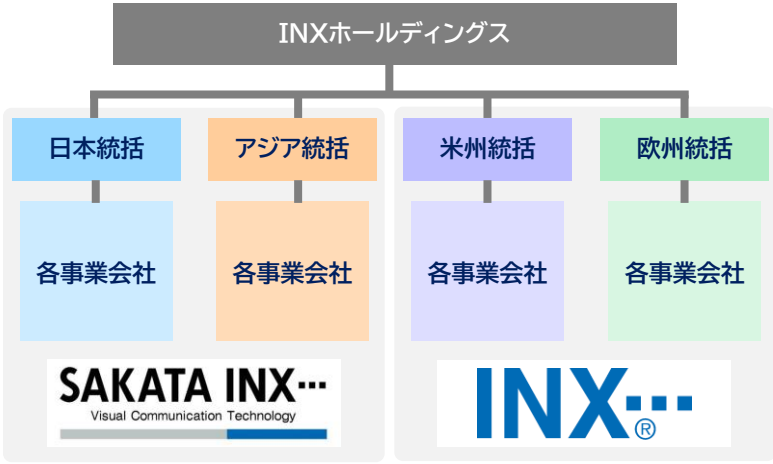

グループ全体を統括し、
グローバル経営をさらに強化

## 事業運営

### 各地域の統括会社・事業会社



各市場・顧客への
提供価値をさらに強化




| | |
|---|---|
| INX ホールディングス株式会社を設立 | グループ全体を統括し、グローバル経営をさらに強化します。 |
| 地域ごとに統括会社と事業会社で運営 | 日本市場に対応した新生・サカタインクスが発足<br>ステークホルダーへの提供価値をさらに強化していきます。 |
| 各地域のブランド名称は継続 | 日本・アジアは「サカタインクス」ブランド<br>欧米は「INX」ブランドを継続します。 |
| 東証への上場は継続 | 株式市場にはINXホールディングス株式会社(4633)として<br>上場を継続します。 |

Copyright © SAKATA INX CORPORATION. All Rights Reserved.

# 地域軸と機能軸によるグループ連携体制

SAKATA INX
Visual Communication Technology

地域軸

機能軸

| | INXホールディングス | 日本統括会社 | アジア統括会社 | 米州統括会社 | 欧州統括会社 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 各事業会社 | 各事業会社 | 各事業会社 | 各事業会社 |
| 戦略 | 全体統括 | グローバル視点から描く持続的成長戦略の構築と実行 | | | |
| 研究開発 | 全体統括 | グローバル製品価値の一貫性と競争力の確保 | | | |
| 調達 | 戦略立案 | 戦略的調達による競争優位性の向上 | | | |
| 生産 | 戦略立案 | グローバルでの効率的な生産体制と品質・コスト・納期競争力の強化 | | | |
| サステナビリティ | 資源配分 | サステナビリティを武器に未来市場を開拓 | | | |
| 財務・資本 | ガバナンス | 経営高度化を支える財務価値の最大化　ROICを重視した資本配分による投資リターンの最大化 | | | |
| 人財 | ガバナンス | グループの持続的成長を支える人財基盤の確立 | | | |
| ブランディング ガバナンス | ガバナンス | 持続的なブランド価値の最大化　法的健全性・信頼・持続的な企業価値を守る | | | |

**【地域軸】×【機能軸】の両面で統制・連携を強化し、グループ全体の価値を最大化する**

# 持株会社化の目的

## ローカル最適

各エリアの市場特性を踏まえて、顧客の要望に最適化することで
グループ業績を拡大



×

## グローバル最適

社会や顧客のグローバル化に対応した組織・ビジネス体制への変革により
より多くのステークホルダーに価値提供するグローバル企業へ



**地域の強みを活かしつつ**
**グローバル視点でサプライチェーンマネジメントを進化**

Copyright © SAKATA INX CORPORATION. All Rights Reserved.

# ― 成長を加速化させるための「持株会社化」の目的

SAKATA INX
Visual Communication Technology

## 資　源

経営資源の最適配分

### 1 成長分野への集中投資



各国に分散していた経営資源を集約し、

**成長が期待できる事業・地域へ資源を集中**

## 組　織

機動的な組織体制の構築

### 2 グローバル戦略の推進



国内外のグループ会社が連携し、

**グローバルで一体となった事業戦略を実行**

## 経　営

グローバル経営体制の強化

### 3 ガバナンスの強化



経営と事業運営の役割を明確化し、

**グループ全体の統制・ガバナンスを強化**

# グループ全体の力を結集し、持続的な成長を目指す

Copyright © SAKATA INX CORPORATION. All Rights Reserved.

【これまでの取り組み】

各地域の事業成長に最適な投資を個別に判断

課題

INXグループ全体の観点から、資金を一元管理し、資本効率を重視した重点投資の必要性

【持株会社化後の取り組み】

**グループ連携による全体最適の観点から、戦略的な投資と資本コストを上回る利益を追求**

主な施策

- キャッシュアロケーションの最適化
- 中長期戦略と資本効率の両面を踏まえた投資判断
- 全体バランスを踏まえた株主還元



**投資効果の最大化と資本効率の向上**

Copyright © SAKATA INX CORPORATION. All Rights Reserved.

【これまでの取り組み】

グループ間の連携をしつつも、主に各地域の文化や市場環境、事業内容に適した組織体制

課題

グローバル展開して成長する顧客への販売戦略、コスト高騰への対策、環境規制・意識の高まり、
増加する自然災害へのBCPなど、グループ間連携による重要性が増大

【持株会社化後の取り組み】

**個別最適の優れたところは活かしながら、よりグローバルで機動的な連携が行える組織へ**



主な施策

- グローバル顧客への販売戦略やサービスの連携強化
- コスト競争力を高めるグループ間での共同購買、生産・物流連携
- R&Dをホールディングス機能とすることで、情報一元化による開発スピードの向上
- 災害時や緊急時におけるBCP対策の強化

**競争力の強化による持続可能な組織へ**

Copyright © SAKATA INX CORPORATION. All Rights Reserved.

【これまでの取り組み】

親会社がサポートしつつ、各地域の市場動向や商慣習に詳しい現地法人を中心とした経営体制

課題

顧客のグローバル展開、環境や人権などの社会課題、資本市場からの経営に対する情報開示や透明性への要求など、各地域で個別に対応できない課題の増加



【持株会社化後の取り組み】

**増加するグローバルな機会とリスクに、機動的に対応できるグループ経営体制の強化**

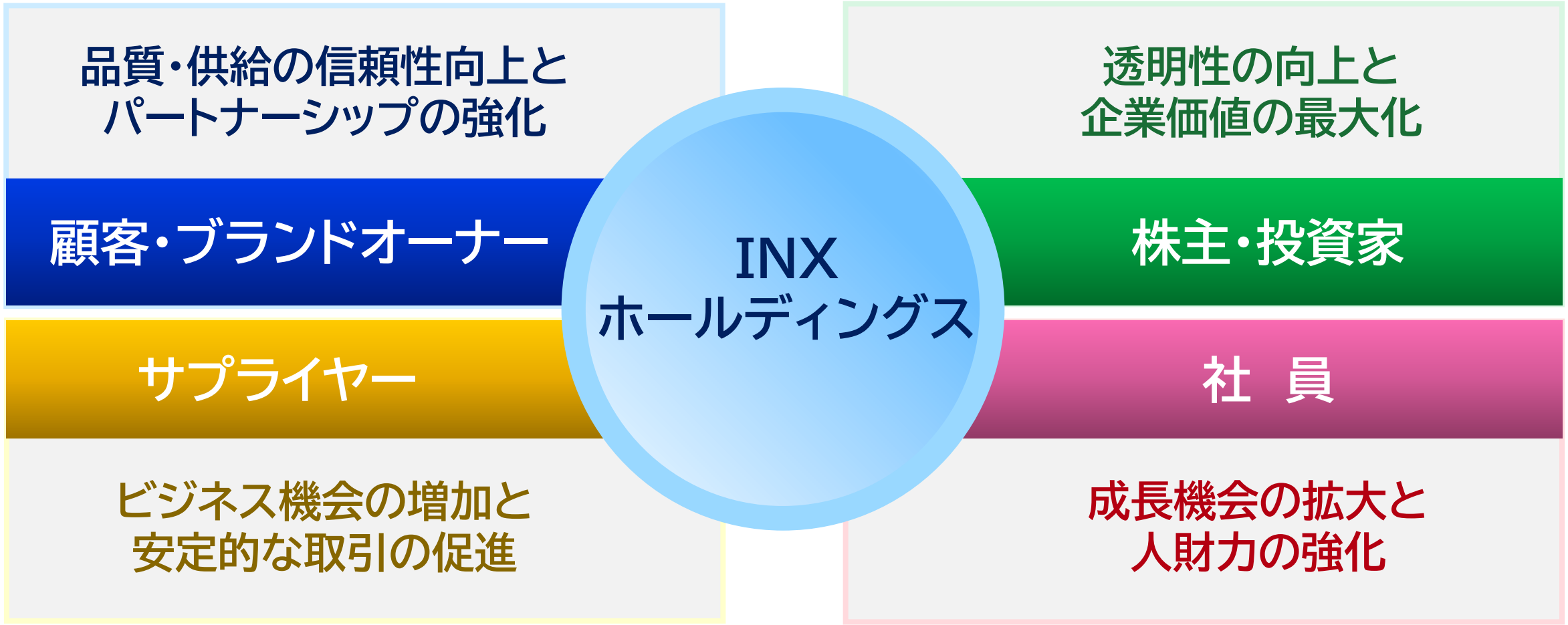
主な施策

- グループ経営のガバナンス強化と情報開示による経営の透明性向上
- グループ全体として一貫性のあるストラテジー策定
- ホールディングスと子会社の役割明確化による意思決定のスピード化

**グループ総合力と企業価値の向上**

Copyright © SAKATA INX CORPORATION. All Rights Reserved.

# 持株会社化に伴う
# ステークホルダーへの提供価値拡大




**持株会社化によりステークホルダーへの提供価値を拡大**

Copyright © SAKATA INX CORPORATION. All Rights Reserved.

SAKATA INX
Visual Communication Technology

## 顧客・ブランドオーナー



**Global Customer Value**

品質・供給・対応力を
グローバル連携で強化

### 品質・供給の信頼性向上とパートナーシップの強化

ホールディングス化により、地域ごとの強みを活かしながら、品質・供給・対応力をグループ全体で高める

**1 安定供給**

グローバルネットワークを活用し、
供給面の安心感を高める

**2 高品質な製品提供**

グローバル基準に基づき、
製品品質の一貫性を高める

**3 スピード対応**

グローバル連携により、
顧客課題への対応スピードを
向上

**4 ローカライズ強化**

地域の実情に合わせた製品・
サービス対応を継続して強化

**5 継続性・信頼性**

ガバナンス強化により、長期的な
取引関係の信頼性を担保

**“地域密着 × グローバル連携”により、顧客にとっての安心感と対応力を高める**

Copyright © SAKATA INX CORPORATION. All Rights Reserved.

サプライヤー



Supply Chain Platform

グローバルな取引基盤で
持続的な関係を強化

## ビジネス機会の増加と安定的な取引の促進

取引機会の拡大、安定取引の強化を通じて、サプライチェーン全体の取引基盤を高度化する

### 1 取引機会の拡大

グループ間での共同購買推進により、販売数量や新規取引等、グローバルな取引機会を拡大

### 2 安定取引の強化

購買組織の情報集約が進むことで、中長期の需要予測向上や長期契約の可能性が向上することにより、安定的な取引機会の増加

### 3 ESG・コンプライアンス

サプライチェーンを意識したサステナブルな調達への共同対応を促進

**“取引機会の拡大 × 安定取引の強化”により、サプライヤーとの持続的な関係を強化する**

Copyright © SAKATA INX CORPORATION. All Rights Reserved.

SAKATA INX
Visual Communication Technology

## 株主・投資家



**Investor Value**

資本効率と透明性を高め
株主価値向上につなげる

### 資本効率最大化と透明性強化による株主価値の向上

グループ連携強化による資本効率の最大化とガバナンス強化による透明性の強化により、株主価値向上をさらに加速

**1 ガバナンス強化**

情報開示と経営の透明性を高め
グループ経営への信頼を強化

**2 資金配分の最適化**

成長投資・株主還元を含めた
資本効率の向上を意識した配分

**3 事業連携の強化**

地域軸を越えた連携により
中長期成長戦略を
より確実に実行

**4 役割の明確化**

グループ経営の管理と
事業活動を分離し、
経営体制を分かりやすく整理

**5 資本政策への理解促進**

役割が明確になることで
資本政策・株主還元への
理解を促進

**“資本効率 × 透明性 × 成長戦略”を一体で示し、より魅力ある投資先に**

Copyright © SAKATA INX CORPORATION. All Rights Reserved.

SAKATA INX
Visual Communication Technology

## 社　員



**Growth & Career**

役割の見える化と
挑戦機会の増加により
人財力を強化する

### 成長機会の拡大と人財力の強化

グローバルで活躍できる機会と、役割の明確化を通じて社員の挑戦を後押しする

**1 役割・期待の見える化**

グループ各社の役割が明確になることで、社員一人ひとりの役割・期待・成果を明確にし、挑戦しやすい組織へ

**2 成長機会の拡大**

事業会社が経営判断を主体的に行うことで、若手・中堅社員にも責任ある業務やマネジメント機会が拡大

**3 キャリア機会の増加**

国や地域を超え、グループ全体で新たな価値を創出しながら、グローバルで活躍できるキャリア機会が広がる

**“役割の見える化 × 成長機会 × キャリア機会”により、社員の成長と人財力強化につなげる**

Copyright © SAKATA INX CORPORATION. All Rights Reserved.

SAKATA INX

Visual Communication Technology